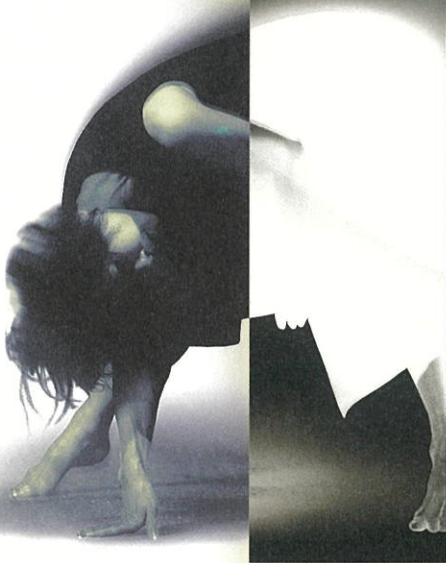


# 門 gate

2003年3月28日(金) 19:30 開演 / 29日(土) 14:00 開演



韓国と日本。動きと音。伝統と現代。異なる3つの位相の交錯を生む「門」という場。そこに立ち現れる〈存在〉を探り味わう試み。

京都芸術劇場 春秋座

[京都造形芸術大学内]

# gate

『門 gate』—ここでは韓国ダンスと日本の音楽、  
 (日本のダンスと韓国の音楽)が競演します。

同じアジアの隣国でありながら、

韓国と日本の身体性・音楽性には大きな違いがみられます。

しかしその一方で、呼吸/ホブ、調子/チャンダンという言葉で

音楽や踊りの状態を表すような共通感覚も持っています。

「門」という場に集う異なる背景とアプローチをもつ人々の交わりから、

韓国と日本—互いの中に潜む固有の身体性・音楽性はどのように立ち現れるでしょうか。

今回のために彫刻家 桐原淳行らによって制作されたオブジェ「門」は、

歌舞伎劇場である春秋座の舞台機構「益(回り舞台)」により、いくつもの表情をみせることになります。

概念としての「文化交流」を越える、新たな出会いをご期待下さい。

門とは、あちらとこちら、  
 境界の間の開口であり  
 出発のときは出口であるが、  
 その出口は帰りに入口であり  
 また、入ることを許されない防壁でもあり、  
 脱出のときには突破口である。

あるいはわかれわれの生の時間で見れば、  
 記憶と現実

少年少女の大人への境界

あるいは老いや死ののぞく窓であり

彼岸と此岸の通路と考えることもできるだろう。

ここに集うすぐれた舞踊家、

音楽家、美術家の顔を思い浮かべられるうち、

この両義的な場である門が浮かび出てきた。

太田省吾

**キム・ウニ** (伝統舞踊を基礎とするコンテンポラリーダンス)  
 梨花大学、東大で韓国伝統舞踊を専攻。86年~95年創舞会(代表:金梅子)で振付家、ダンサーとして活動。90年代に入ってから創舞会の公演だけではなく、個人公演も行う。理知的な動きとそれを超える生命力に支えられた、独自の持出した内面世界の描写でダンサーとして、振付家としての自身の地位を確立した。キム・ウニ舞踊団代表。サンミョン大学、成均館大学舞踊科講師。



**AYUO** (作曲:ギター・ブズーキ・歌・電子音)  
 ニューヨークで育ち、60年代後半のアメリカ文化から強い影響を受ける。8歳よりギターを習い始め、スタンリー・シルバーマン、後にウィリアム・ヘルマンに師事。83年以降12枚のソロアルバムを制作発表。ギターの他にも様々な楽器を演奏し、古代音楽にみられる世界の繋がりをネオ・トラッドという独自のサウンドで表現し、坂本龍一、ピーター・D'Amico、フェアポート・コンベンションとの共演など国際的に活躍。



**長須与佳** (薩摩琵琶・歌・尺八)  
 78年生まれ。琴古流尺八を人間国宝である故山口五郎、松山龍聖の両氏に、薩摩琵琶を坂田美子氏に師事。NHK邦楽技能者育成会45期を琵琶で修了、東京芸術大学音楽学部邦楽科を尺八で卒業。02年茨城県新人演奏会で奨励賞受賞。02年邦楽合奏団「まどか」と共にハンガリー・オーストリア公演参加。02年ドイツの「リュートフェスティバル」に参加、平家物語を弾き語る。



**山田せつ子** (コンテンポラリーダンス)  
 『天使館』にて舞踏を笠井敬に師事。繊細なフォルムとイメージの多様性で独自のダンススタイルを確立し、ソロダンスを中心に国内外で高い評価を得ている。既成のダンスのコードにとらわれない身体表現の可能性をさぐり、新鮮なダンス・フィールドの開拓に力を注いでいる。ダンスカンパニー「枇杷系」ディレクター。京都造形芸術大学映像・舞台芸術学科教授。



**カン・ウニル** (ヘグム)  
 67年生まれ。国立国楽高等学校卒業。漢陽大学大学院国楽科終了。88年東亜国楽コンクール一般の部大賞受賞。90年KBS国楽管弦楽団入団。96年新設された京畿国立国楽団ヘグム主席就任。90年打楽器の巨匠であるキム・テファンとのアルバム「黒雨」に参加。NHKチェンバ・オーケストラとの共演など日本でも活躍。異ジャンルの音楽とのセッションを通してヘグムという伝統楽器の音楽領域を拡大させた。韓国芸術総合学校、聖公会大学講師。



**K&Kスカラプチャープロジェクト** 京都造形芸術大学美術・工芸学科彫刻コース教員と学生が日頃のゼミ活動を起点として、彫刻の可能性と未来を信じて立ち上げた独自の制作ユニット。今回は表現の場を「舞台」におき、身体表現と彫刻表現のコラボレートによって両者の間にどのような展開と創造が生まれるのかを研究する。代表:桐原淳行[1957年生まれ。彫刻家。展覧会に、「モダン de 平野・抗全神社境内にて」(大阪市平野区 1998)など多数。近年は、「scale(ものさし)」という彫刻に内蔵された身体感覚を探るためのキーワードで、多様な素材を用いた制作を続けている。]

◇日時  
 2003年  
**3月28日[金] 19:30 開演**  
**29日[土] 14:00 開演**  
 (30分前開場)  
 ◇会場  
 京都芸術劇場 春秋座  
 (京都造形芸術大学内)  
 TEL:075-791-8240

●シンポジウム●  
**「身体音楽と音楽身体(仮題)」**  
 29日(土)上演終了後開催(詳細はお問い合わせ下さい)

◇料金  
 [一般] 前売 3,000円/当日 3,500円 [学生] 前売 2,000円/当日 2,500円  
 ＊全席自由  
 ◇お問い合わせ  
 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター TEL:075-791-9437  
 〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116  
 FAX:075-791-9438 E-mail:info@k-pac.org  
 URL:www.shunju-za.org (出演者による本作品解説もあり)  
 ◇チケット発売日 2003年2月17日(月) 10:00~  
 ◇前売取扱  
 チケットぴあ TEL:06-6363-9966 (Pコード 410-870)、0570-02-9999  
 舞台芸術研究センター事務所 TEL:075-791-9437 E-mail:info@k-pac.org  
 JCDNダンスリザーブ(ダンスオンライン予約サービス) http://dance.jcdn.org/



**パン・ヒョネ** (モダンダンスを基礎とするコンテンポラリーダンス)  
 71年生まれ。00年ソウルワールドダンス2000で『Tragic Division 2』に主演、同年韓国ダンス協会主催のコンテストで1位受賞。01年ハンソン芸術大学にてモダンダンス修士号取得。02年リトル・アジア・ダンス・フェスティバル(オーストラリア、香港、台湾、日本、韓国公演)、アジア・コンテンポラリー・ダンス・フェスティバル(大阪)に参加。ハンソン大学舞踊科講師、キョンミン芸術大学演劇科舞踊実技講師。

**高田和子** (三絃・歌)  
 箏を中能島欣一に、三絃を杵屋正邦に師事。東京芸術大学大学院修了後、83年より三絃リサイタル開催、一柳慧、石井真木、細川俊夫らに委嘱初演。99年和楽器プロジェクト「糸」を結成。00年東京芸術大学非常勤講師。近年はアジアのダンサーやジャズ、即興系プレーヤーとの共演など、現代音楽の枠を越え、三絃と歌の可能性を追求。ドイツ、イタリアほか海外での演奏も多数。



＊  
**作品・空間コンセプト**  
 太田省吾  
 ＊  
**「門」オブジェ制作**  
 桐原淳行  
 K&Kスカラプチャープロジェクト

＊  
**出演**  
 キム・ウニ  
 パン・ヒョネ  
 AYUO  
 高田和子  
 長須与佳

＊  
**観世榮夫**  
 山田せつ子  
 カン・テファン  
 カン・ウニル

砂連尾理十寺田みさこ

＊  
**舞台監督**  
 池田ともゆき  
**照明**  
 岩村原太  
**音響**  
 加藤陽一郎  
**宣伝美術**  
 井原靖章デザイン

＊  
**制作**  
 木村典子  
 志賀玲子  
**主催**  
 京都造形芸術大学  
 舞台芸術研究センター  
 Kyoto Performing Arts Center



**観世榮夫** (能)  
 27年能の名門、観世鏡之丞家に生まれる。49年喜多流のメソッドを学ぶため後藤三の養子となる。58年能界離脱し、以後、演劇・オペラ・歌舞伎・舞踊などの演出を手掛け、映画演劇の俳優としても活躍する。59年劇団青年芸術劇場旗揚げに参加。66年自由劇場旗揚げに参加。68年東ベルリンでペルリナー・アンサンブル『テーパーイヘ向かう七将』を共同演出。79年能界に復帰。京都造形芸術大学映像・舞台芸術学科教授。

**カン・テファン** (アルトサクソ)  
 44年生まれ。小学校の頃にクラリネットを習い、ソウル芸術高等学校を卒業後、アルトサクソホンに転向。クラリネット、アルトサクソホンで78年にフリージャズのトリオを結成。93年佐藤允彦、高田みどりトリオ「トングラム(丸)」を結成。MOERS FESTIVAL 91をはじめ、世界各地で活発な演奏活動を展開。韓国国内でも若い音楽家達とのセッションを積極的に行い、後輩の育成に力をそそぐ。

**砂連尾理十寺田みさこ** (コンテンポラリーダンス)  
 91年共同で活動を開始。01年「横浜ダンスコレクション ソロ&デュオ Competition」に選出。02年「Rencontre choreographique international du Seine Saint Denis」横浜プラットホームに選出。同年「第1回 TORII AWARD」大賞受賞。「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2002」にて「次代を担う振付家賞」「オーディエンス賞」をW受賞。京都造形芸術大学映像・舞台芸術学科非常勤講師。

**アクセス**  
 ◎JR「京都」駅/京阪「三条」駅/阪急「河原町」駅から(京都駅からは約50分)  
 一京都市バス5番「岩倉」行き乗車  
 「上終町・京都造形芸大前」下車  
 ◎市営地下鉄「丸太町」/「北大路」駅から(約15分)  
 一京都市バス204循環に乗車  
 「上終町・京都造形芸大前」下車  
 ◎京阪電鉄「出町柳」駅から  
 一叡山電鉄に乗り換え、「茶山」駅下車徒歩10分  
 一タクシーで10分  
 駐車場はございません。